

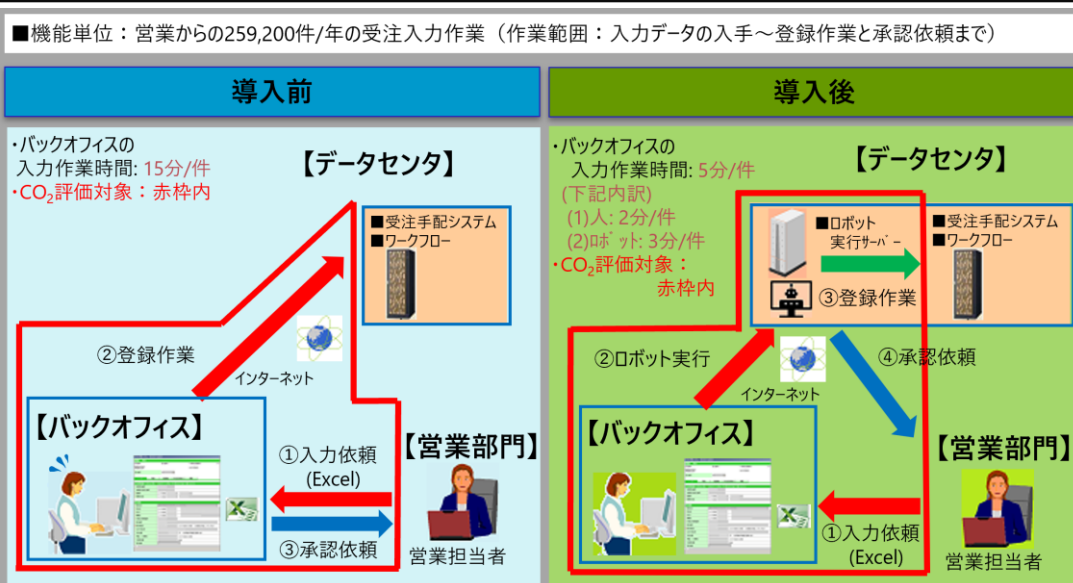
【定型業務自動化支援サービス】

RPA^(*)を活用した定型業務自動化による環境負荷の低減 (*1) RPA: Robotic Process Automation

ロボットが定型業務を代行することで人手による入力作業の自動化が可能となり、お客さまの作業工数やシステムの消費電力を削減し環境負荷を低減 (CO₂排出量 84%削減)

■お客さまの課題

・基幹システムへの受注入力作業の作業時間を減らしたい。

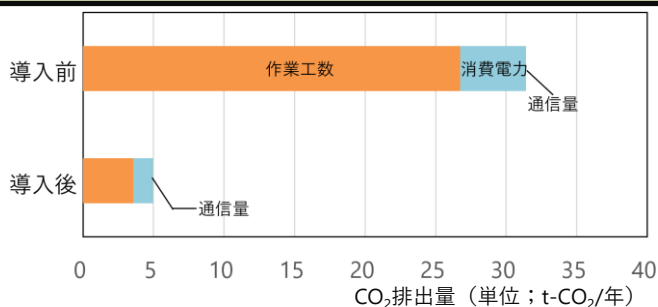


■効果

・作業時間が1件あたり「10分」短縮！

全体で10分×21,600件/月=3,600時間/月（約22人月相当）の工数削減

・消費電力削減 バックオフィスで使用しているPCの削減に伴い、消費電力が約70%削減



CO₂削減率：84% (CO₂排出量：26t-CO₂/年削減)

・環境負荷要因は評価条件や評価モデルにより値が異なります。

・本評価は、(株)日立製作所のCO₂算定手法であるSI-LCA^(*)を使用し、2019年2月時点の情報で評価対象として算定しています。

(*2) SI-LCA：System Integration-Life Cycle Assessment

SI-LCAは「平成17年度情報通信技術(ICT)の環境効率評価ガイドライン（日本環境効率フォーラム平成18年3月発行）に準拠した手法です。

情報サイト >> <https://www.hitachi-systems.com/solution/s0307/rt/>

製品に関するお問い合わせ >> <https://www.hitachi-systems.com/form/contactus>

環境に関するお問い合わせ >> <https://www.hitachi.co.jp/it-env>

株式会社 日立製作所 >> <https://www.hitachi.co.jp/products/it/sustainability/environment/index.html>

株式会社 日立システムズ

東京都品川区大崎1-2-1 〒141-8672

<https://www.hitachi-systems.com>

Copyright © Hitachi, Ltd. 2019, 2025.
All rights reserved.